



砂中だより

第280号

令和8年10月9日

江東区立砂町中学校

校長 小野 享洋

笑顔と情熱があふれた前期を振り返って

校長 小野 享洋

爽やかな秋風が吹き抜け、朝夕の涼しさに季節の移り変わりを感じる頃となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本日、10月9日をもって令和8年度の前期が終了いたします。4月に着任してからあっという間の半年間でしたが、この砂町の地で生徒たちとともに過ごした日々は、私にとって驚きと喜びに満ちたものでした。本校の生徒たちは、本当に明るく、素直で気のいい生徒ばかりです。

日々交わす元気な挨拶や屈託のない笑顔に、私はいつも大きなパワーをもらっていました。この前期、生徒たちはあらゆる場面で一生懸命に挑戦し、素晴らしい姿を見せてくれました。5月の運動会では、学年の枠を超えて声を掛け合い、仲間と心を一つにして全力で駆け抜けました。各学年の移動教室や3年生の修学旅行、日々の学習や部活動においても、互いを思いやりながら主体的に行動し、一步一步頼もしく成長していく姿がありました。

また、学校内にとどまらず、地域の行事や活動に積極的に参加する生徒たちの姿も大変印象的でした。地域の方々と触れ合い、街の中で弾けるような笑顔で活動する姿は、砂町中学校の誇りであり、地域を明るく照らす「未来の力」そのものです。

こうした生徒たちの輝きは、ご家庭での温かい励ましや、地域の方々の温かい見守りがあってこそです。深く御礼申し上げます。

明日からの3連休は、これまでの頑張りを自分自身でしっかりと認め、後期に向けた新たな目標や気持ちを整える大切な節目となります。ご家庭におかれましても、ぜひお子様が前期に挙げた成果や成長した部分に光を当て、温かい言葉をかけていただければ幸いです。

食と健康を考える機会に～給食試食会・学校保健委員会～

9月17日（木）、「給食試食会」と「学校保健委員会」を開催いたしました。ご出席いただいた皆様に心より御礼申し上げます。試食会では栄養士による献立の工夫や衛生管理の説明とともに、実際の給食をご試食いただきました。続く学校保健委員会では、事前アンケートをもとに養護教諭や学校薬剤師のお話を伺い、生徒の健康や食生活を見つめ直す貴重な時間となりました。「給食の安心・安全の工夫が分かった」「成長と健康を考えるきっかけになった」との声も寄せられ、学校・家庭・地域の連携の大切さを再確認いたしました。給食を味わい健康について深められる大変有意義な機会ですので、来年度はさらに多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。



地域とともに学ぶ～2年生 職場体験学習～

本校では9月17日（木）・18日（金）の2日間にわたり、2年生を対象とした「職場体験学習」を実施いたしました。学校の教室を飛び出し、実際の働く現場に身を置くこの活動は、生徒たちにとって社会の仕組みや働くことの意義を身をもって学ぶ貴重な機会となりました。

体験期間中、生徒たちは緊張した面持ちながらも、真剣な表情で仕事に取り組んでおりました。礼儀正しい挨拶や言葉遣い、教わった作業に一生懸命励む姿勢など、日頃の学校生活とは一味違う大人びた表情が随所で見られ、生徒たちの隠れた可能性や頼もしい姿を再発見する場面が多々ありました。

事後の振り返りでは、「働くことの楽しさや達成感を知ると同時に、責任の重さを実感した」「お客さんからの『ありがとう』という言葉が本当に嬉しかった」「自分の将来や興味のある分野について、真剣に考える良いきっかけになった」といった声が多く聞かれました。教室の授業だけでは得られない「本物の体験」を通して、生徒一人一人が自身のキャリアや生き方を見つめ直す、大変有意義なステップとなったことを確信しております。

最後になりますが、お忙しい業務の合間を縫って本校生徒を温かく迎え入れ、熱心にご指導いただきました地域の事業者・関係者の皆様に、心より深く感謝申し上げます。地域の皆様の深い愛情とご理解に支えられ、子どもたちは安心して挑戦し、大きく成長することができました。今後とも、砂町中学校の生徒たちの成長を温かく見守っていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



長崎の地で繋いだ平和の心と強い絆～3年生 修学旅行～

9月25日（金）から27日（日）までの2泊3日、3年生（全114名）が九州・長崎への修学旅行を行ってまいりました。「漕ぎ出そう、仲間とともに ～長崎で繋ぐ平和と未来～」というスローガンのもと平和への願いを深め、仲間との絆を一段と強く深めた3日間となりました。

初日は原爆被災地である長崎を訪れ、原爆資料館の見学や追悼平和祈念館での平和集会、そして被爆体験講話に臨みました。被爆の実像や命の尊さに直に触れ、真剣な眼差しで学ぶ生徒たちの姿勢は実に頼もしく、平和の尊さを次の世代へと受け継ぐ確かな意思を感じました。

2日目の長崎市内班別行動や伝統の「ハタ作り体験」では、異国情緒あふれる長崎の歴史や文化を肌で感じながら、班員どうして助け合いながら笑顔で活動を楽しむ姿が見られました。

最終日の3日目に予定していた牧島港でのペーロン体験は、荒天のため中止となりましたが、急遽変更となった長崎ペンギン水族館にて、気持ちをしっかりと切り替え笑顔で楽しく有意義な時間を過ごすことができました。どんな状況でも前向きに楽しむ姿勢に、3年生の精神的なたくましさや集団としての成熟を感じました。

最後になりますが、早朝からの送り出しや日頃の体調管理など、ご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、そして温かく見守ってくださったすべての皆様に、心より深く感謝申し上げます。

